

Daily Scene 4 ～電話での会話～

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力

① 単元について(単元観・生徒観・指導観)

1 単元観

本単元は、電話での会話を場面設定としている。電話の場面は全学年を通して取り上げられており、レベルアップをしながら繰り返し学習することになっている。本単元は、友だちを遊びに誘うという内容で、電話特有の表現だけでなく既習事項を活用して友だちを誘うという実際の言語使用場面である。友だちを誘う時や誘いを断る時も理由をつけて表現するといったように、電話の表現だけでなく、自分自身のことを伝える表現力のレベルアップも求められており、学習指導要領の「ア 聞くこと」の「(ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること」と「イ 話すこと」の「(イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」ができる生徒の育成を目標とした単元でもある。

3年間を通しての電話での会話表現

	電話表現	
	電話をかける側	電話を受ける側
1 学年	・ Hello, Erika? This is Yun-ho.	・ Hello?
2 学年	・ Hello? This is Meg. ・ May I speak to Erika, please? ・ Is this Mrs. Takigawa? ・ I'll call back later. ・ Oh, I'm sorry.	・ Hello? ・ Sure. Just a second. ・ Yes. ・ Speaking. ・ Sorry. But she's out right now ・ Sorry. You have the wrong number.
3 学年	・ 1・2 学年次での既習事項 ・ No, it's OK. Can I leave a message? ・ Could you tell her to call me back?	・ 1・2 学年次での既習事項 ・ Do you want her to call you back? ・ Would you like to leave a message?

2 生徒観

今年度の「基礎・基本」定着状況調査における英語の通過率は次の通りである。

「基礎・基本」定着状況調査 英語

全体平均通過率 78.6		タイプ I 80.5	タイプ II 68.1
項目		通過率	
タイプ I	会話の場面に応じて適切に英文を書く	56.4	
	自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話す	46.8	
タイプ II	根拠となる英文の読み取り	56.4	
項目		肯定的回答	
生徒質問紙	英語の授業では自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。	71.1	
	英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについてメモを取ったり、感想や意見などを話したり、書いたりしています。	68.9	
校内アンケート	授業では、自分の考えを積極的に伝えています。	69.6	

課題は次の2つである。

- ①調査問題の「場面に適した表現で自分の意見を相手に正しく伝える」ことの通過率が目標値である70より下回っている。
- ②生徒質問紙、校内生徒アンケート項目の、「積極的に自分の感想や意見などを話したり、書いたりしている。」の肯定的回答の割合が少ない。

3 指導観

平成29年度広島県高等学校入試は、活用の問題に重点が置かれ、表現力を問うものが約4割程度出題されている。このことから、生徒が興味を持って、そして目標を持って意欲的に自己表現活動することを繰り返すことを通して、基礎基本事項の定着を図るような授業づくり、実践を継続していくことがさらに必要である。本単元では、「電話で福山観光にALTを誘おう。」という終末課題（パフォーマンス課題）を設定している。終末課題に向けて、電話の場面での会話練習を繰り返し行うことを通して、状況に応じた適切な表現を使って、自分の考えや気持ち、事実などを正しい英語で相手に伝える力を育成することを目標に次の2つに重点を置いて指導をしていきたい。

- ① 基本表現の定着のために、話し手からの様々な働きかけを想定した活動を繰り返し行う。
- ② 全ての生徒が授業内容を理解し、授業に参加できるようにペアワークを中心にした授業展開をする。

また、以上のことを踏まえ、本時では、電話で友だちを遊びに誘う活動をペアワークで繰り返し行うことを通して、電話の基本表現の定着を図り、質問や依頼などを聞いて適切に応じることができるように指導していきたい。

② 単元の目標と身に付けさせたい力について

1 単元の目標

- (1) 電話の場面や状況に応じた適切な表現を考えて、自分の考えや気持ち、事実などを相手に正しく伝える。(外国語表現の能力)
- (2) 電話の場面での質問や依頼などを聞いて適切に応じる。(外国語理解の能力)
- (3) 取り次ぎや伝言を頼むなど、電話の場面での会話に積極的に取り組んでいる。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (4) 電話の場面で使用する表現の使い方に関する知識を身に付けている。(言語や文化についての知識・理解)

2 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの意欲・態度・関心	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①取り次ぎや伝言を頼むなど、電話の場面での会話に積極的に取り組んでいる。	①電話の場面や状況に応じて、自分の考えや気持ち、事実などを相手に正しく伝えることができる。	①電話の場面での質問や依頼などを聞いて適切に応じることができる。	①電話の場面で使用する表現の使い方に関する知識を身に付けている。

3 本単元で育成を目指す資質・能力

(1) 本校の設定した資質・能力と本単元との関わり

資質・能力	特に身に付けさせたい力	本単元での育成・評価
知識・技能	知 ①学習したことを自ら語れる力 (知の構造化)	—
思考力・判断力・表現力	思 ①根拠をもとに、正しい判断をする力 (論理的思考力)	—
	②よりよい解決のため、いろいろな見方・考え方を持つ力 (批判的思考力)	○
	③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力 (言語力)	○
主体的に学ぶ力	主 ①自ら課題を見だし、解決しようとする力	—
他者とのかかわる力	他 ①他者と協力して、課題を解決したり、目標に向かって取り組んだりする力	—
	②他者とのかかわりを通して、自分の考えを深めたり広げたりしようとする力	—
社会貢献力	社 ①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力	—
自己形成力	自 ①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力	—
	②自信を持つ力	—

(2) 本単元で本校の設定した資質・能力を身に付けさせるための手立て

資質・能力	資質・能力を身に付けさせるための手立て
思-②	電話の場面で起こりうる様々な状況を想定させ、それに応じた対応(表現)を考えさせる。
思-③	電話の場面や状況に応じて、自分の考えや気持ち、事実などを相手に正しく伝えることができるように、ペアでスキット練習・スキット作成をさせる。

③ 単元計画

1 単元の全体像（Ⅰ：学習内容、Ⅱ：学習活動、Ⅲ：単元として生徒に身に付けさせたい力）

Ⅰ 福山観光にALTを誘うために、Ⅱ 電話の場面でのスキット練習をしたり、実際にスキットを作成したりすることを通して、Ⅲ 電話の場面や状況に応じた適切な表現を考えて、自分の考えや気持ち、事実などを正しい英語で相手に伝える力を身に付ける。

2 単元の終末で見取るパフォーマンス評価

パフォーマンス課題	評価基準	
あなたの学校に新しいALTがやってきました。英語の授業でALTに福山を案内することになりました。ALTに電話をかけて来週の予定を確認し、福山観光に誘いましょう。	A	・電話の場面や状況に応じた適切な表現を考えて、自分の考えや気持ち、事実などを正しい英語で相手に伝えている。
	B	・電話の場面や状況に応じた適切な表現を考えて、自分の考えや気持ち、事実などを英語で相手に伝えている。 ・内容を理解する上で支障のない誤りがある。（冠詞、前置詞、複数形など） ・内容を理解する上で支障のある誤りがいくつかあるが全体の内容はおおむね理解できる。（時制の間違い、語順など）
	C	・電話の場面や状況に応じた適切な表現を考えて、自分の考えや気持ち、事実などを英語で相手に伝えていない。 ・内容を理解する上で支障のある誤りが多く内容が理解できない。（動詞、時制の間違い、語順など）

3 学習内容と評価の計画

学習過程	時	○本時のめあて ●学習内容	評 価					
			関	表	理	知	評価規準 (評価方法) 【資質・能力】	※評価規準の太字ゴシック体の部分において本校が設定した資質・能力を評価する。
課題情報の設定	1	○正しい英語で電話をかけ、かかってきた電話に対応することができる。 ●教科書の電話スキットを学習することを通して、電話表現、誘いの表現などを確認する。					エ① 電話の場面で使用する表現の使い方に関する知識を身に付けている。（ペーパーテスト）	
整理・分析	2	○電話で友だちを遊びに誘ったり、誘いに答えたりすることができる。 ●前時に学習した電話表現、誘いの表現を使って、実際に友だちを遊びに誘う。【本時】			◎		ウ① 電話の場面での質問や依頼などを聞いて適切に応じることができる。 (行動観察・ワークシート・ペーパーテスト) 【思-②】	
創造・表現	3	○ALTのマリセル先生を福山観光に電話で誘うシミュレーションスキットを作ることができる。 ●前時に学習した電話表現、誘いの表現を使って、実際にALTを福山観光に誘うスキットを作成する。			◎	○	イ① 電話の場面や状況に応じて、自分の考えや気持ち、事実などを相手に正しく伝えることができる。 (行動観察・ワークシート) 【思-③】 エ① 電話の場面で使用する表現の使い方に関する知識を身に付けている。(行動観察・ワークシート)	
振り返り	4・5	○ALTに電話をかけて来週の予定を確認し、福山観光に誘うことができる。 ●ALTとの個別インタビューテストを受ける。単元テスト(ペーパーテスト)を受ける。	○	◎	○	○	ア① 取り次ぎや伝言を頼むなど、電話の場面での会話に積極的に取り組んでいる。 (インタビューテスト・ペーパーテスト) イ① 電話の場面や状況に応じて、自分の考えや気持ち、事実などを相手に正しく伝えることができる。 (インタビューテスト・ペーパーテスト) 【思-③】 ウ① 電話の場面での質問や依頼などを聞いて適切に応じることができる。 (インタビューテスト・ペーパーテスト) 【思-②】 エ① 電話の場面で使用する表現の使い方に関する知識を身に付けている。 (インタビューテスト・ペーパーテスト)	

④ 本時の学習

1 本時の目標

電話の場面での質問や依頼などを聞いて適切に応じることができる。

2 本時の評価

評価規準（評価の観点）	評価基準	
ウ① 電話の場面での質問や依頼などを聞いて適切に応じることができる。 （行動観察・ワークシート・ペーパーテスト）【思-②】	A	電話の場面での質問や依頼などを聞いて適切に応じることができる。
	B	電話の場面での質問や依頼などを聞いておおむね理解できており、応じることができる。
	C	電話の場面での質問や依頼などを聞いてほとんど理解できていない、または、適切に応じることができない。

3 準備物

ワークシート

4 学習展開（限目 2 / 5）

学習過程	課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・創造・表現	実行	振り返り	
学 習 活 動		指導上の留意点			評価規準 (評価方法) 【資質・能力】		
導入 (7分)	1. スーパーインプット（ペアワーク） 2. 前時の復習 電話表現の確認（ペアワーク）		<ul style="list-style-type: none"> 基本表現の定着状況を確認する。 支援が必要な場合は、個別に声かけをし、全体でもう一度確認をする。 				
【本時のめあて】 電話で友だちを遊びに誘ったり、誘いに答えたりすることができる。							
展開 (33分)	3. 電話での会話の様々なパターンを想定したスキットの確認（個人） ㊦…じっくり考える 4. 友だちを遊びに誘う（ペアワーク） ①友だちを何に誘うか考える。 例) 映画, サッカーをする, USJ に行くなど ②電話をかける側と受ける側を決める。 ③実際に電話をかけ、遊びに誘う 終わったら交代 ㊧…くり返し挑戦する		<ul style="list-style-type: none"> すべての生徒が活動に参加できるように配慮する。 指示は短く, 的確にする。 生徒の理解を確認しながらすすめる。 生徒によるデモンストレーションで活動のイメージを持たせる。 活動の具体的な指示を行う。 ※ 1回目 相手呼び出すパターン 2回目 本人が最初から電話にでるパターン 3回目 相手が不在の時のパターン 4・5回目 どのパターンがくるかは電話を受ける側の選択に任せる 発表する生徒 <ul style="list-style-type: none"> はっきりと相手に伝わるように発表するように指示する。 発表を聞く生徒 <ul style="list-style-type: none"> 聞くポイントを伝え, 聞いた後にプリントにまとめる。 			ウ① 電話の場面での質問や依頼などを聞いて適切に応じることができる。 （行動観察・ワークシート）【思-②】	
まとめ (10分)	6. 確認テスト 電話の場面での会話において適切なものを選択肢の中から選ぶ。		ポイント <ul style="list-style-type: none"> どのパターンの電話表現であるか。 何に誘っていたのか。 			ウ① 電話の場面での質問や依頼などを聞いて適切に応じることができる。 （ペーパーテスト） 【思-②】	